

年間授業計画

成瀬 高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科

地理・歴史 科目 地理総合

教科： 地理・歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国703） ）

教科 地理・歴史 の目標：

- 【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、GIS等を用いる技能を習得させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	地理に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、世界の多様な文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「結びつきを深める現代世界」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の地図からみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家と日本の位置や領域 国家間の結び付き、主に貿易や交通網、通信網の視点から グローバル化にともなう課題 到着次第、一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代世界の地域の位置や範囲などに着目して主題を設定し、日本の位置や国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に世界でみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元2「地図と地理情報システム」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムを基に読み取ることができる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 地図帳と地図情報システムの活用 一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムの情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報から課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
<p>単元3「生活文化の多様性と国際理解」</p> <p>【知識及び技能】 世界の人の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地形や気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 世界の人の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことについて理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元4「地球的課題と国際協力」</p> <p>【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解し、持続可能な社会の実現を目指した国際協力の在り方などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑に絡み合う地域と課題 ・地球環境保全の現状と課題 ・資源・エネルギー問題の現状と課題 ・人口、食料、都市・居住問題 ・さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解し、持続可能な社会の実現を目指した国際協力の在り方などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	<p>単元5「さまざまな地域的課題についての探究学習」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら主体的に設定した主題 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元6「自然環境と防災」</p> <p>【知識及び技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の自然環境 ・地震・津波・火山と防災 ・気象災害と防災 ・さまざまな地図を活用した備え ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>単元7「生活圏の調査と地域の展望」</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の調査の技法とまとめ方 ・生活圏の課題及びその解決 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
合計							70

年間授業計画

成瀬 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理・歴史 科目 歴史総合

教科： 地理・歴史 科目： 歴史総合 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川708） ）

教科 地理・歴史 の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本や世界の歴史の展開に関して理解するとともに、歴史的原典や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し現代の課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	歴史に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の歴史的文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「歴史の扉」</p> <p>【知識及び技能】 「旅」や「憲法制定」を題材に私たちの身近な生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「旅」や「憲法制定」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、身近な生活が日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて歴史が叙述され、資料を批判的な目から見るよう主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・諸資料からみる今と昔の「旅」 ・「憲法制定」に関する歴史の特質及び資料 ・到着次第、一人1 台端末を活用する</p>	<p>【知識・技能】 「旅」や「憲法制定」を題材に私たちの身近な生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「旅」や「憲法制定」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元2「近代化への問い」</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通の発達や貿易の拡大、教育の均質化が近代化に与えた影響や、産業と人口変化や人権思想の発展と近代化の関係性、産業革命と労働環境や家族関係の変化の理由について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを、見通しをもって主体的に追究する態度を養う。</p>	<p>・さまざまな課題について、個人やグループで一人1 台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通の発達や貿易の拡大、教育の均質化が近代化に与えた影響や、産業と人口変化や人権思想の発展と近代化の関係性、産業革命と労働環境や家族関係の変化の理由について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを、見通しをもって主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元3「近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立」</p> <p>【知識及び技能】 大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に産業革命の進展、ウィーン体制の成立と崩壊、アメリカ独立革命とフランス革命の関係性、ラテンアメリカ諸国の独立の様子について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<p>・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・19世紀のヨーロッパの動向 ・19世紀の南北アメリカ大陸の動向 ・個人やグループで一人1 台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に産業革命の進展、アメリカ独立革命とフランス革命の関係性、ラテンアメリカ諸国の独立の様子について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1

1 学期

<p>単元4「近代アジア世界の成立」 【知識及び技能】 16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、ヨーロッパの進出との関係性、イスラム帝国の繁栄と衰退、インドおよび中国の台頭について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<p>・ヨーロッパ主権国家の成立とアジア進出 ・西アジアにおける大帝国の繁栄と衰退 ・南アジアおよび東南アジアの植民地化の影響 ・中華帝国の発展と日本との関係 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、ヨーロッパの進出との関係性、イスラム帝国の繁栄と衰退、インドおよび中国の台頭について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元5「国民国家と明治維新」 【知識及び技能】 明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、自由民権運動と立憲体制、日本の産業革命と日清戦争との関係性、帝国主義と列強の展開について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<p>・ヨーロッパ主権国家の成立とアジア進出 ・西アジアにおける大帝国の繁栄と衰退 ・南アジアおよび東南アジアの植民地化の影響 ・中華帝国の発展と日本との関係 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、自由民権運動と立憲体制、日本の産業革命と日清戦争との関係性、帝国主義と列強の展開について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元6「近代化と現代的な諸課題」 【知識及び技能】 資料を活用し、自由と制限、開発と保全、対立と強調の観点から、現代的な諸課題に関わる近代化の特徴を理解し、戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きが近代化の重要な側面であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・国際関係の緊密化と戦争・貿易が与えた影響 ・主にアメリカとソ連の工業生産の増加と世界経済への影響 ・第一次世界大戦後と第二次世界大戦後にそれぞれ目指された植民地独立の意義 ・19世紀後半から20世紀前半におこった大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ・第一次世界大戦後の生活様式の変化とその影響 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 資料を活用し、自由と制限、開発と保全、対立と強調の観点から、現代的な諸課題に関わる近代化の特徴を理解し、戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きが近代化の重要な側面であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元7「総力戦と社会運動」 【知識及び技能】 第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本の世界の動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、第一次世界大戦の展開、ベルサイユ体制とワシントン体制の動向、世界経済の変容とナショナリズムについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本と世界の動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<p>・第一次世界大戦の展開 ・ソビエト連邦の成立とアメリカの台頭 ・ベルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・ナショナリズムと大衆文化の発展 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本の世界の動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 特に、第一次世界大戦の展開、ベルサイユ体制とワシントン体制の動向、世界経済の変容とナショナリズムについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本と世界の動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>単元8「経済危機と第二次世界大戦」</p> <p>【知識及び技能】 世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、世界恐慌の時代、ファシズムと共産主義、日中戦争と第二次世界大戦の展開、国際連合の成立と冷戦のはじまり、日本の占領政策について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と国際的な影響 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日本の大陸政策と日中戦争 ・第二次世界大戦の展開 ・国際連合と国際経済体制 ・日本の占領政策と戦後改革 ・冷戦のはじまりと東アジア諸国の動向 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、世界恐慌の時代、ファシズムと共産主義、日中戦争と第二次世界大戦の展開、国際連合の成立と冷戦のはじまり、日本の占領政策について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>単元9「国際秩序の変化と現代的な諸課題」</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用し、対立と強調、統合と分化、平等と格差の観点から、現代的な諸課題に関わる大衆化の特徴を理解し、冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化と大衆化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開と国際関係の変容 ・人と資本の国際的な移動の動向と影響 ・高度情報通信の発展と政治・経済への影響 ・資源・エネルギー問題、地球環境問題、感染症対策などの歴史的展開 ・多様な人々の共存と平和構築への努力 ・自ら主題を設定し、個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 資料を活用し、対立と強調、統合と分化、平等と格差の観点から、現代的な諸課題に関わる大衆化の特徴を理解し、冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化と大衆化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元10「冷戦と世界経済」</p> <p>【知識及び技能】 冷戦から石油危機までの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、東西両陣営の動向、地域紛争と脱植民地化、軍拡競争と緊張緩和、地域連携の形成と展開、アジアの中の戦後日本について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、冷戦から石油危機までの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦下の地域紛争の展開 ・東西両陣営の動向と脱植民地化 ・軍拡競争と緊張緩和 ・キューバ危機と核軍縮の進展 ・計画経済、石油危機と国際経済の変容 ・日本の高度経済成長とアジアとの関係 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 冷戦から石油危機までの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、東西両陣営の動向、地域紛争と脱植民地化、軍拡競争と緊張緩和、地域連携の形成と展開、アジアの中の戦後日本について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、冷戦から石油危機までの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>単元11「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】 1980年代以降の国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、アジア諸地域の経済発展、情報技術革命とグローバリゼーション、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、地域紛争と国際社会について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、冷戦から石油危機まで1980年代の国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の経済発展 ・グローバリゼーションの進展と国際政治・経済への影響 ・ソ連及び東欧諸国の変化と冷戦終結 ・ソ連の崩壊と新たな世界秩序 ・ヨーロッパなどの地域統合と拡大と変容 ・地域紛争とその解決への国際協力 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 1980年代以降の国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、アジア諸地域の経済発展、情報技術革命とグローバリゼーション、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、地域紛争と国際社会について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、1980年代以降の国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 公共（実教704） ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 進路実現に向けての基礎的基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
<p>単元1「公共の扉」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることにより、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付けられるような態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原典資料「第二の誕生」から、第二の誕生がどのような状態であるかについて理解する。 ・社会参加と自己形成の関連について、資料等を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 ・「一人1台端末」を活用し、主体的に思考・表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることにより、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に対する自覚を深めようとしている。 	○	○	○	4
<p>単元2「人間としてよく生きる」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先哲の思想から、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理的価値の判断において、先哲の思想を活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを、伝統や文化、先哲の思想に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などについて、先哲の思想を踏まえて理解する。 ・思考実験等に関するグループワークや「一人1台端末」を活用し、主体的および対話的に学習を進める。 ・社会のなかで生きるにあたって、各宗教の教えから何を学べるかについて、多面的に考察し、適切に表現する。 ・よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先哲の思想から、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理的価値の判断において、先哲の思想を活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを、伝統や文化、先哲の思想に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することを主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	5

1 学 期	<p>単元3「社会とは何か」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に表現、判断する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳や平等について、その背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人の尊重の考え方を理解する。 差別を是正するための取り組みとして、男女共同参画の実現のために行われている内容を理解する。 特に地球環境問題など、将来世代の利益を考慮した公正な意思決定について、思考実験などを活用して協働的に考察・構想し、適切に表現する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	<p>単元4「民主国家における基本原理」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して探究学習を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治と国家が何であるか、また民主政治の歴史的な発展と社会契約説の考え方について理解する。 議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題についての理解を踏まえ、多数決の長所と短所を主体的・対話的に考察し、適切に表現する。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して探究学習を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>単元5「日本国憲法の基本的性格」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解させる。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を理解する。 日本国憲法で保障される基本的な人権に関する現実社会の課題について理解する。 立憲主義について、「一人1台端末」を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解するとともに、人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて考察し表現する。 法の意義と役割、および我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して解決策を構想する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>単元6「日本の政治機構と政治参加」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割や権限、議院内閣制のしくみや内閣の権限、官主導社会の特徴と課題について理解する。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解する。 ・地方自治の政治・経済的な課題や都市と地方の格差の課題、それらへの対策として行われた改革について理解する。 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題に対して、思考実験等や「一人1台端末」を活用して主体的・対話的に追究し、表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとしている。 	○	○	○	7	
	<p>単元7「現代の経済社会」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の成立と経済社会の展開について理解する。 ・現代経済において株式会社形態が多いことの理由や、企業の社会的責任（CSR）が求められていることについて考察している。 ・現代の経済社会における企業経営や株主と利害関係者の利益について理解する。 ・金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解する。 ・市場経済における政府の役割と租税を中心とした公的負担の意義と必要性について、「一人1台端末」を活用して主体的に考察し、経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることを中心に表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想しようとしている。 	○	○	○	8	
	定期考査				○	○		1
	<p>単元8「経済活動のあり方と国民福祉」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解させる。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働基本権と労働三法の内容や、日本的雇用形態の特徴を理解する。 ・日本の社会保障制度を諸外国との比較において理解し、少子高齢化の進行と社会保障が直面している課題を理解する。 ・2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察する。 ・産業別の将来的な課題について情報を読み取り、それをもとに主体的に考察する。 ・消費社会の現代的な課題について問いを見出し、消費者主権や消費者の権利の観点などから「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解しようとしている。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	8	
<p>単元9「国際政治の動向と課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解させる。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会の成り立ち、国際政治や国際法について理解する。 ・国際連合の機構とその課題、国際紛争の構造的課題について理解する。 ・国際紛争に伴う難民や国内避難民について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解しようとしている。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとしている。 	○	○	○	6		
定期考査				○	○		1	

	<p>単元10「国際経済の動向と課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解させる。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解するとともに、国際収支表の内容と日本の貿易・投資の特徴と変化について理解する。 ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 ・IMF・GATT体制の理解を踏まえて、公正な国際貿易体制について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察し、その内容を表現する。 ・金融のグローバル化による資本の国際取引の活発化と国際金融の不安定性について、具体的な主題を設定し、対話的にその対応策を考察・構想する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解している。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	7
3 学 期	<p>単元11「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解させる。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人およびグループで「一人1台端末」を活用し、それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解している。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究しようとしている。 	○	○	○	5
定期 考 査				○	○		1 合 計 70

年間授業計画

成瀬 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 社会科 科目 選択日本史

教科：社会科 科目：選択日本史 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（詳説日本史 日探705）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けさせる

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 選択日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元「開国と幕末の動乱」 【知識及び技能】 ・ 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し歴史の経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。	・ 江戸幕府の特徴を捉える ・ 内憂外患への対応 ・ ベリー来航と対外方針の模索 ・ 開港とその影響 ・ 公武合体と尊攘運動 ・ 幕府の滅亡 ・ 戊辰戦争と新政府の発足 ・ 幕末社会の動揺と変革 ・ 一人1台端末の活用し、主体的に思考・表現する。	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	5
B 単元「歴史資料と近代・現代の展望」 【知識及び技能】 五箇条の誓文のあつかわれ方について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近現代の日本の産業の在り方や課題について仮説を表現して展望する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料から適切に読み取った情報をもとに、五箇条の誓文の扱われ方と近現代の日本の産業の在り方や課題について主体的に追究する態度を養う	・ 「五箇条の誓文と国是の資料読み取り ・ 貿易の変遷からみる日本の近代・現代 ・ 一人1台端末を活用して、主体的に思考・表現する。	【知識・技能】 五箇条の誓文の内容を踏まえたうえで、自由民権運動や初期議会、戦時下の学校教育や占領下の日本における同資料のあつかわれ方を読み取っている。 【思考・判断・表現】 近代・現代における各時期の貿易の変遷から、その課題が何であったかを考察し、日本の産業の変化について仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代を通観する問いを踏まえ、五箇条の誓文の扱いや、近現代における日本の産業が抱える課題について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	1
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元「明治維新と富国強兵」 【知識及び技能】 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、根拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	・ 廃藩置県 ・ 四民平等 ・ 地租改正 ・ 殖産興業 ・ 文明開化 ・ 明治初期の対外関係 ・ 一人1台端末の活用し、主体的に思考・表現する。	【知識・技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6

	<p>D 単元「立憲国家の成立」</p> <p>【知識及び技能】 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現させる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府への反抗 ・自由民権運動 ・自由民権運動の再編 ・憲法の制定 ・諸法典の編纂 ・初期議会 ・さまざまな主題について、一人1 台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査				○	○		1
2 学 期	<p>E 単元「日清・日露戦争と国際関係」</p> <p>【知識及び技能】 東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進化した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争と三国干渉 ・立憲政友会の成立 ・列強の中国進出と日英同盟 ・日露戦争 ・韓国併合 ・満州への進出 ・桂園時代 ・さまざまな主題について、一人1 台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>F 単元「第一次世界大戦と日本」</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大正政変 ・第一次世界大戦 ・日本の中国進出 ・政党内閣の成立 ・パリ講和会議とその影響 ・ワシントン会議と協調外交 ・社会運動の勃興 ・普選運動と護憲三派内閣の成立 ・さまざまな主題について、一人1 台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>G 単元「近代産業と近代文化の発展」</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色とマスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通貨と銀行 ・産業革命 ・紡績と製糸 ・鉄道と海運 ・重工業の形成 ・農業と農民 ・労働運動の進展 ・明治の文化と宗教 ・教育の普及 ・科学の発達 ・近代文学 ・明治の芸術 ・生活様式の近代化 ・大戦景気 ・都市化の進展と市民生活 ・大衆文化の誕生 ・学問と芸術 ・さまざまな主題について、一人1 台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発展とそれによる社会問題への対応、明治期の文化に関わる政府と国民の動向、大正期のマスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題についてについて課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査				○	○		1

3 学 期	<p>H 単元「恐慌の時代」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究する姿勢を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後恐慌から金融恐慌へ ・社会主義運動の高まりと積極外交への転換 ・金解禁と世界恐慌 ・協調外交の挫折 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】</p> <p>国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>I 単元「軍部の台頭」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に可決する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・満洲事変 ・政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退 ・恐慌からの脱退 ・転向の時代 ・二・二六事件 	<p>【知識・技能】</p> <p>政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>J 単元「第二次世界大戦」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三国防共協定 ・日中戦争 ・戦時統制と生活 ・戦時下の文化 ・第二次世界大戦の勃発 ・新体制と三国同盟 ・太平洋戦争の始まり ・選曲の展開 ・国民生活の崩壊 ・敗戦 	<p>【知識・技能】</p> <p>戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。</p>				9
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画

科目名 (単位数)	現代社会(2)	教科書:現代社会(東京書籍)
対象学年	3	副教材1:最新 図説 現社(浜島書店)
履修形態	必修	副教材2:
講座数	7	副教材3:
科目の目標	<p>社会の仕組みや実際の姿を学ぶ。 世の中で意見の対立のある課題について、知識を得、自分なりに考える。 よりよい社会を作っていくために、公民としての能力を高める。</p>	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	<p>18歳選挙権を前に学んでおこう 資源エネルギー問題を考える</p> <p>民主政治とは 日本国憲法の基本原理</p>	<p>政治との関わり、日本の選挙制度 資源エネルギー問題、将来への課題</p> <p>民主政治の仕組みと現実の政治 大日本帝国憲法の成立過程と基本原理 日本国憲法の成立過程と基本原理</p>
1学期期末 (26)	<p>日本国憲法の基本原理 続き</p> <p>日本の政治機構</p>	<p>平和主義について理念と現実 日本をめぐる戦後の国際関係 日本国憲法における基本的人権の保障</p> <p>国会・内閣・裁判所の仕組みと現実の姿</p>
2学期中間	<p>日本の政治機構</p> <p>現代社会の特質と課題</p> <p>現代の国際政治</p>	<p>地方自治について、その本旨・現状・課題</p> <p>選挙・政党、政治参加について</p> <p>マスメディアと世論形成</p> <p>国際関係と国際法(国際連合の機能と課題) 国際政治の動向と国際政治の課題</p>
2学期期末 (28)	<p>経済社会の仕組み</p> <p>日本経済の発展と課題</p> <p>労働と社会保障</p>	<p>資本主義経済の特徴・変容・発展 市場経済の特徴と現実の姿 金融・財政についての基礎知識 現代日本の抱える経済問題</p> <p>労働基準法/現代日本の雇用問題</p>
3学期 (16)	<p>労働と社会保障 労働と社会保障</p>	<p>社会保障制度と私たちの生活 社会保障制度と私たちの生活</p>
評価の 観点と 方法	<p>私たちの生きる現代社会を理解するために必要な政治・経済の知識が身についたか。 日常の授業で、現代社会がはらむ問題や課題を主体的に考え、学ぶ姿勢ができたか。 定期考査や課題に積極的に取り組み、一定以上の成果を挙げたか。</p> <p style="text-align: right;">以上の観点から総合的に評価を行う。</p>	

年間授業計画

成瀬高等学校 令和5年度 社会科 選択世界史B 年間授業計画

教科：社会科 科目：(選択)世界史B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年

使用教科書：(世界史B 新訂版 [実教出版])

使用教材：(グローバルワイド[第一学習者] ウィニングコンパス[とうほう])

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	西アジア世界と地中海世界	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	13
5月	西アジア世界と地中海世界 南アジア世界と東南アジア世界	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	13
6月	東アジア世界	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	13
7月	中央ユーラシア世界と東アジア世界の展開	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	13
9月	中央ユーラシア世界と東アジア世界の展開 アフリカ世界と南北アメリカ世界	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	14
10月	イスラームの広がりや西アジア世界の展開	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	14
11月	ヨーロッパ世界の形成と展開	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	14
12月	中央ユーラシア世界とシィ地域世界の交流・再編	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	14
1月	演習問題	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 定期考査や小テスト等	8
2月				
3月				

年間授業計画

成瀬高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 地理・歴史 科目 選択日本史

教科： 地理・歴史 科目： 選択日本史 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国703） ）

教科 地理・歴史 の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、GIS等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 選択日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	地理に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、世界の多様な文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「結びつきを深める現代世界」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地図からみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家と日本の位置や領域 国家間の結びつき、主に貿易や交通網、通信網の視点から グローバル化にともなう課題 到着次第、一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域の位置や範囲などに着目して主題を設定し、日本の位置や国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に世界でみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元2「地図と地理情報システム」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムを基に読み取ることができる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 地図帳と地図情報システムの活用 一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムの情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報から課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
<p>単元3「生活文化の多様性と国際理解」</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地形や気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことについて理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

